

第3学年 道徳学習指導案

1 主題名 「友達を思う心」 2-(3) 友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。

資料名 同じなかまだから (学校図書)

2 主題設定の理由

内容項目の解釈	子どもたちの実態
<p>信頼とは相手を信用し、頼りにすることである。友情とは、相互の信頼の上に成り立ち、相手の人間的な成長を願い、互いに励まし合い、高め合い、協力を惜しまない人間関係である。助け合いとは、互いに力をかしかうことである。相手の気持ちや立場を押し量り、自分にできることを行おうとする心を育て、友達のことを互いによく理解し、信頼し、助け合おうとすることができるよう指導することが大切である。しかし、自己中心的な見方・考え方が強いと、相手の気持ちや立場を押し量ることができず、友達の気持ちを理解することができない。そこで、相手の気持ちや立場を押し量り、友達の気持ちを理解することの大切さに気付かせることは、重要なことである。このことは、高学年での異性に対しても信頼を基にして、正しい理解と友情を育て、協力して助け合うことの大切さについての学習へと発展するものである。</p>	<p>本学級の子どもたちは、友達と仲良くすることや助け合うことの大切さを知っている。また、気の合う友達同士で仲間をつくり、自分たちの世界を確保し、楽しむ姿も見られる。しかし、自分と利害関係が強いときには、友達を責めたり、友達とけんかをしたりする姿も見られる。これは、まだ、自己中心的な感じ方や考え方が強いために、友達の気持ちを理解することが難しく、自分の利害損得の感じ方や考えただけでものを考えてしまうからである。そこで、相手が困っていること、大変な思いをしていることなどを押し量り相手のことを考えた親切な行為を自ら進んで行うことができるようになるこの期に、本主題を設定する。そして、相手の気持ちや立場を押し量り、友達の気持ちを理解することの大切さに気づき、友達のために自分にできることをしようとする心を育てたい。</p>

3 本時のねらい

(1) 相手の気持ちや立場を押し量り、友達の気持ちを理解することの大切さに気づき、友達のために自分にできることをしようとする心情を育てる。

(2) 役割演技を通して押し量った登場人物の気持ちを深めることによって、友達の気持ちを理解し、友達のためにできることをしようとする心の価値を意欲的に追求したり、自己の体験を振り返って小グループで交流することで、これからの自己の生き方を深めたりすることができるようにする。

4 対話を深める支援

資料との対話を深める工夫	友だちとの対話を深める工夫	自己との対話を深める工夫
<p>○光夫が体育の授業に参加することへの不快な気持ちを捉えさせ、とも子の心の弱さを明らかにするために、主人公とも子の「でも、光夫くんが入ったらー。」のダッシュに込められた気持ちについて発問する。</p> <p>○光夫の気持ちを理解した上で必死にひろしを説得しているときのとも子の気持ちを押し量りやすくするために、教師がひろし役、子どもがとも子役になって、吹き出しの言葉を考えさせた後、吹き出しに気持ちを表現する場を設定する。</p>	<p>○親友よし子が仲間外しにされていることと、光夫が仲間外しにされていることを重ねて考えることができるようにするために、よし子の辛い気持ちと光夫の気持ちを重ね合わせながら手紙を提示する。</p> <p>○光夫の気持ちを理解するととも子の気持ちを押し量りやすくするために、ペア対話の場を設定する。</p> <p>○光夫の気持ちを理解しているとも子への共感を深めるために、役割演技をした後、とも子の気持ちがよく表れているところを交流する。</p>	<p>○友達との関わりを振り返り、自分の中にある「友達の気持ちを理解し、友達のためにできることをしようとする心」に気付かせるために、北野っ子ノートを読み返す場を設定する。</p> <p>○「友達の気持ちを理解し、友達のためにできることをしようとする心」の心地よさを共有するために、自分で見つけた体験を班で交流する場を設定する。</p> <p>○今後の実践への意欲を高めるために、「友だちはいいもんだ」の歌を流しながら、友達と共に生活している写真を見せる。</p>

5 本時展開

段階	学 習 活 動 と 内 容	教 師 の 支 援
つ か む と ら え る み つ め る あ た た め る	<p>1 友達と仲良くなるために、大切にしていることについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達が困っていたら、手伝います。 ・一人である友達がいたらさそって一緒に遊びます。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">友達ともっとなかよくなるために大切な心を見つめよう。</p> <p>2 資料「同じなかまだから」をもとに、登場人物の気持ちについて話し合う。</p> <p>○「でも、光夫くんが入ったら一。」と言ったとも子の気持ちについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの班が遅くなるので負けてしまう。 ・私たちの班のせいで、私たちのクラスは優勝できなくなる。 <p>○親友よし子の手紙を思いだしたとも子の気持ちについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みつおくんもよし子さんと同じようにつらい思いをしている。 ・もしかして、わたしも光夫くんと同じことをしているのかもしれない。 ・光夫くんも一生懸命がんばっているし、台風の目をやりたいのかも。 <p>◎ひろしを非難しているとも子の気持ちについて話し合う。</p> <p>①教師がひろし役、子どもがとも子役になり、役割演技を行って、吹き出しの言葉を考える。</p> <p>②「光夫くんを外して勝とうなんておかしいわ。」の言葉の続きを吹き出しに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光夫くんもがんばっているし、同じクラスのなかまだから、一緒にがんばろうよ。 ・勝ち負けよりも光夫くんのことを考えて、みんなでがんばることが大切だよ。 <p>③全体の場で役割演技を発表し、とも子の（光夫の気持ちを理解している）気持ちがよく表れているところを交流し、取り入れる。</p> <p>○合同体育の時間、なぜ、3人が心をついに台風の目をがんばることができたかについて考え、友達の気持ちを理解し、友達のためにできることをしようとする心の価値について話し合う。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">友達の気もちを理解し、友達のためにできることをしようとする心</p> <p>3 これまでの友達との関わり方を振り返り、「友達の気持ちを理解し、友達のためにできることをしようとする心」について話し合う。</p> <p>○自分の友達カードを読み返し、友達の気持ちを理解して友達のために行動している部分に赤線を引く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人である友達がいました。<u>みんなと一緒に遊びたいのかな</u>と<u>思って、声をかけました。</u>するとAさんは、にこっと笑いました。だから、ぼくもとってもうれしかったです。 <p>○班の友達と交流する。</p> <p>4 「友だちはいいもんだ」の歌や友達と共に生活している写真を視聴して話し合う。</p> <p>○「友だちはいいもんだ」を聴きながら、友達と共に生活している写真のスライドを見る。</p> <p>○思ったことやこれからの自分についてプリントに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の気持ちを考えて、もっと分かり合っていきたいな。 ・友達と助け合って、もっと仲良くなっていきたいな。 	<p>○友達と仲良くなるために大切にしていることに気づかせるために、アンケート結果を提示する。</p> <p>○とも子の不快感を明らかにするために、ダッシュの部分の気持ちについて発問する。</p> <p>○よし子の気持ちをもとに光夫の気持ちを推し量ることができるにするためによし子の手紙を提示する。</p> <p>○光夫の気持ちを理解したとも子の気持ちを推し量りやすくするためにペアで対話する場を設定する。</p> <p>○光夫の気持ちを理解した上でひろしを説得しているとも子の気持ちを推し量りやすくするために教師がひろし役、子どもがとも子役になって役割演技を行った後、吹き出しに気持ちを表現する場を設定する。</p> <p>○友達の思いを理解し、友達のためにできることをしようとする心に気づかせるために、3人が心をついに台風の目をがんばることができた理由について発問する。</p> <p>○自分の中にある「友達の気持ちを理解し、友達のためにできることをしようとする心」に気付かせるために、北野つ子ノートを読み返す場を設定する。</p> <p>○今後の実践への意欲を高めるために、「友だちはいいもんだ」の歌を流しながら友達と共に生活している写真のスライドを提示する。</p>